

# 整備機器

## 新商品

小野谷機工(株)

TB・LT用タイヤチェンジャー

### 「プロフット PF-09W」

標準搭載した新機能

## ラインレーザーで

## 中心合わせが簡単に

ク可能なハブ穴径100〜480ミリ、最大タイヤ径1100ミリ、最大リ、最大タイヤ幅315ミリ。商品開発本部サービス機器開発部課長の坂井良治さんが実演デモと製品解説を担当してくれました。

「PF-09W」は、前のモデルにあたる「PF-295W」を正常進化させた。最大タイヤ幅295ミリだったのに対し、「PF-09W」はビードローラーの間隔を拡大し最大タイヤ幅315ミリまで対応する。スベックは適用リム径16/17.5/19.5/22.5インチ、チャック可能なハブ穴径100〜480ミリ、最大タイヤ径1100ミリ、最大リ、最大タイヤ幅315ミリ。

実際に脱着作業するまでの間にいくつもの工程を要していたと、坂井さんは指摘する。シリーズは「ビードローラーをダブルとすることにより、表と裏の作業を同時に行うことができスピーディーな作業を実現し、作業効率を大幅に高めた」と、坂井さんは続ける。「PF-09W」はユーザーから高い評価を得ているこの「ダブルビードローラー」を引き続き採用した。

このビードローラーは油圧による伸縮機能に、操作ボックスで作業リム径を選び、位置合わせを行う必要があった。実際に脱着作業するまでの間にいくつもの工程を要していたと、坂井さんは指摘する。シリーズは「ビードローラーが自動的に径合わせを行いリアランスを確保する。」

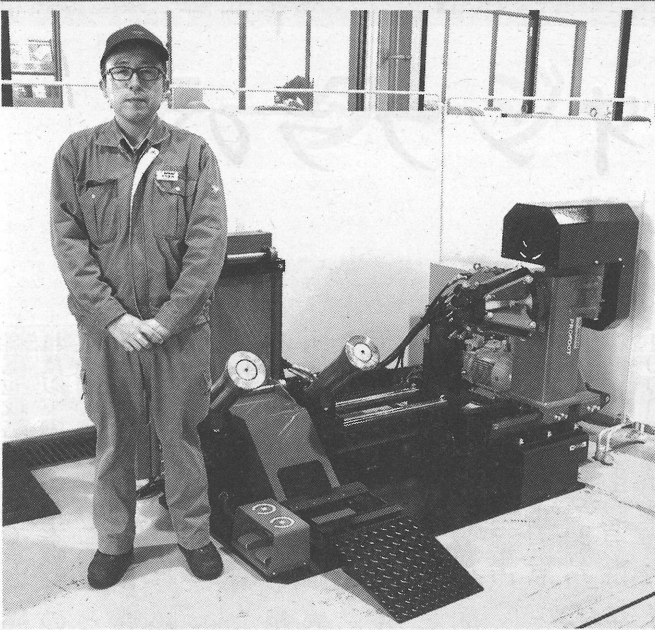
シリーズの進化を示す新機能は「ラインレーザー装置」を標準で搭載したこと。これはチャック時のセンターポジションを可視化することで作業効率を向上させる機能だ。

「プロフット」シリーズに装備されたタイヤリフト台にはもう一つ、メリットがある。坂井さんは「ホイールだけタイヤチェンジャーに固定するという作業を行うべき高さの中心部分に緑色のレーザが照射される。そのレーザをガイドに、

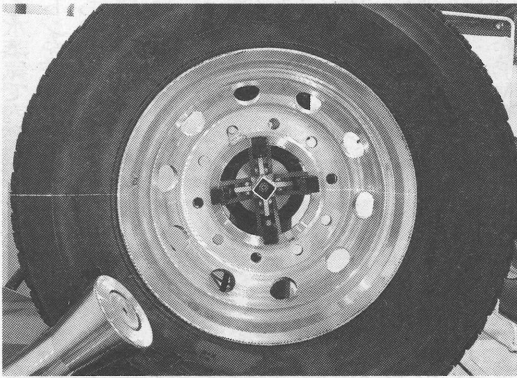
リフトの高さを合わせセンターリングすること、チャッキング作業をよりスピーディーに行うことが可能となった。

はタイヤ装着時に比べ外径が小さくなり、作業ポジションが低くなってしまう。それをチャッキングの真ん中に合わせようとする、ホイールを手で持ち上げなければならず作業者に負担がかかった。その際に指を挟んでしまうというヒヤリハット事案も懸念された。しかしこのリフト台に置くだけでホイールが座り固定されるので、ホイールだけのチャッキング作業時でもリフトの上昇・下降を安全に行うことができる」と説明する。

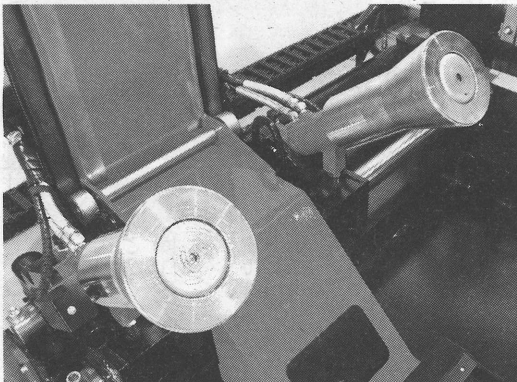
坂井さんは「定評のある『プロフット』シリーズの高い機能性と安全性はそのままに、適用可能なタイヤ幅を315ミリまで拡張した。しかも新機能を搭載することで、作業効率の向上と省力化を実現した」と話す。自動車整備業界共通の課題として重くのしかかる安全確保と人手不足。プロフットPF-09Wはその解決を目指す、小野谷機工からの提案だ。



本機と坂井さん



ラインレーザー装置



ダブルビードローラー



操作ボックス

## 最大タイヤ幅を315ミリへと拡大

「第37回オートサービスショー2023」が開催され、小野谷機工(株)(福井県越前市)はタイヤ整備機器の新製品と参考出品モデルを出展した。すでに市場で本格的に発売展開したニューモデルも多い。この連載で順次、新商品を紹介する。

TB・LT用タイヤチェンジャーの新製品「PROFOOT(プロフット) PF-09W」は、前のモデルにあたる「PF-295W」を正常進化させた。「PF-295W」が最大タイヤ幅295ミリだったのに対し、「PF-09W」はビードローラーの間隔を拡大し最大タイヤ幅315ミリまで対応する。

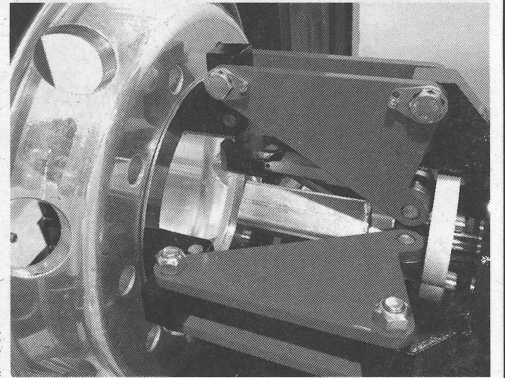
スベックは適用リム径16/17.5/19.5/22.5インチ、チャック可能なハブ穴径100〜480ミリ、最大タイヤ径1100ミリ、最大リ、最大タイヤ幅315ミリ。

商品開発本部サービス機器開発部課長の坂井良治さんが実演デモと製品解説を担当してくれました。

「PF-09W」は、前のモデルにあたる「PF-295W」を正常進化させた。最大タイヤ幅295ミリだったのに対し、「PF-09W」はビードローラーの間隔を拡大し最大タイヤ幅315ミリまで対応する。

実際に脱着作業するまでの間にいくつもの工程を要していたと、坂井さんは指摘する。シリーズは「ビードローラーが自動的に径合わせを行いリアランスを確保する。」

シリーズの進化を示す新機能は「ラインレーザー装置」を標準で搭載したこと。これはチャック時のセンターポジションを可視化することで作業効率を向上させる機能だ。



油圧の強力なパワーでホイールをホールド

使用することで、大型タイヤの強靱なビード部の組み込みを行うときでも、作業者の腕力に頼らずに作業を行うことが可能となった。

また、「PF-09W」には省電力で低騒音の油圧ユニットを搭載した。スイッチ操作で油圧ポンプが起動するので、使用する電力をセーブし騒音の発生を減らした。

オプションで「タイヤ回転2スピード仕様」各種「ホイール保護リング」を用意し、幅広い作業環境・用途に対応する。